

# KIT虎ノ門大学院 学習支援計画書(シラバス)

※ 欠席・遅刻する場合は、事前相談/連絡を徹底してください。(連絡先: 虎ノ門事務室 [メールまたは電話])

※ 授業中の食事は控えてください。携帯電話はマナーモードにするなど、受講するにあたってのマナーをお守りください

科目名	科目コード	単位数	開講期	講義形式
生成AIの活用実務特論 1	Z 160	1 単位	3 学期	ハイフレックス
Advanced Practice of using Generative AI 1				
科目分野	課程領域			
技術経営	イノベーションマネジメント共通科目			
担当教員名	メールアドレス	連絡方法 / オフィスアワー		
野田 晴義	-	メールアポイントにて随時		

## 関連している科目(履修推奨科目)

生成AIとビジネス・知財特論

生成AIの活用実務特論2

## 授業の概要と到達目標

### 授業の主題と概要

従来のAIと異なり、ITの専門知識が無くても、生成AIでは文章(自然言語)を使って文章・画像、さらにはプロトタイプなどを作り出すことが出来るようになり、「AIの民主化」という大きな変化が広がってきています。生成AIをうまく使いこなすことで、情報収集や文章作成などの業務の効率化や時間短縮のみならず、自身のスキルアップにも有効なツールとなってきています。本科目では、生成AIの基礎知識、ビジネス活用、並びに考慮点などを学びます。

- ① 生成AIの概要と生成AIツールの体験により理解を深める
- ② 生成AIの基本的な仕組みを理解し、エージェントを含めた業務における有効な活用手法について検討・理解する
- ③ 様々な業界に適用されている生成AIの事例を学び、業務における生成AIの有効な活用方法を知る
- ④ 生成AIに関連する各種リスクやガバナンスを理解し、人と生成AIの協働について検討する

### 到達(修得)目標

この科目を通して受講者は、生成AIの基礎知識とその仕組み、生成AIツールを活用したビジネスへの応用、生成AIに関連するリスクなどを理解し、生成AIを皆さんのビジネスの場で活用して効率的な業務の進め方や新しいアイデアを生み出せるようになることを目指します。

### 受講対象者

生成AIのビジネス活用に関心があり、生成AIを個人や業務で使用した経験がある方で、生成AIの基礎からビジネスへの効果的な適用などを幅広く学びたいビジネスパーソン全般。

## 履修上の注意事項やアドバイス

2コマ連続で、全4回のセッションです。各セッションの履修前後にレポート提出が求められます。レポートは全4回の提出が必須です。成績は、基本的に、講義への参加とレポートに基づいて評価されます。

※ 本科目は、隔週クラス(180分×4日間、合計8コマ)で構成する。

※ 欠席が、2コマ(90分=1コマ)を超える場合は、単位修得にも影響する。欠席の際は、事前連絡を徹底すること。

※ 担当する教員は実務家教員とする。

※ 授業にて配布する資料等教材や講義収録映像・音声の無断転用・転載を禁じます。

## コンピテンシ修得目標

知識領域 (Y軸)		ヒューマンパワー (Z軸)		思考プロセス (X軸)	
Y1: 基盤法令・テクノロジー	○	Z1: 問題発見力	○	X1: 企画	○
Y2: 応用法令・実務・テクノロジー	○	Z2: 独創力	○	X2: 構想	○
Y3: グローバル法令・実務	○	Z3: 問題解決力	○	X3: 調査・分析	○
Y4: マネジメント		Z4: プレゼンテーション力		X4: 設計・開発	○
Y5: 戦略立案		Z5: 変革推進力		X5: 変革	
Y6: 標準化		Z6: コミュニケーション力	○	X6: 導入・運用	○
		Z7: リーダーシップ力		X7: 評価・検証	○
		Z8: ネゴシエーション力		X8: リーガルマインド	○
		Z9: オーナーシップ力		X9: ライフサイクル	

## プラクティカム

イベント / ケース	教育技法	マテリアル / ツール
1 講義や討議	レポートとグループワーク	講義資料など
3 生成AI各種ツールの体験	ツールによる演習	講義資料など
3 生成AIを活用した課題解決	レポートと発表	レポート

評価の方法		
(総合評価項目と割合)		評価の要点
講義等への参画	10%	・講義・オンラインでのQ&A・ディスカッション等への積極的な参画 ・予習や宿題のレポートにおける理解度や考察 上記を元に総合的に評価を行う
予習/宿題レポート	80%	
討議等への貢献	10%	
合計	100%	

テキスト・参考図書など		備考
※ 追加する場合を含め、一部変更となる場合もございますので予めご了承ください		
<b>テキスト</b> (購入が必要)	オンラインにて事前配布	
<b>参考図書</b> (購入は任意・講師推奨)	・大規模言語モデルは新たな知能か(岩波書店) ・AI時代の質問力(翔泳社) ・AIRISK教本(日経BP) ・生成AIで世界はこう変わる(SB新書)	
参考URL		
適宜紹介		

コマ	学習内容	事前準備・課題	担当者	時間
1/2	<b>生成AIの概要と基礎知識</b> ・人口知能(AI)と生成AIの概要 ・生成AIを使いこなすコツ ・生成AIを支える大規模言語モデル(LLM) ・生成AIの活用例	<b>予習:</b> 配布済み資料に目を通す。生成AIツールの使い方を理解する。	野田	180分
	イベント 講義、グループワーク、演習、質疑応答			
3/4	<b>生成AI支えるテクノロジー</b> ・大規模言語モデルとテキスト生成AI ・マルチモーダル生成AI(画像、動画など) ・エージェントAI ・生成AIの課題と改善策(RAGなど)	<b>予習:</b> 体験した生成AIを応用した課題解決事例を調査する <b>宿題:</b> 適宜設定	野田	180分
	イベント 講義、グループワーク、質疑応答			
5/6	<b>生成AIのリスクと有効活用</b> ・生成AIの著作権等での注意点 ・業務・ビジネスにおける生成AIの有効活用	<b>予習:</b> 生成AIを活用し、課題解決への適用を検討する <b>宿題:</b> 適宜設定	野田	180分
	イベント 講義、グループワーク、演習、討議			
7/8	<b>生成AIのリスクと人との協働作業</b> ・生成AI/AIにおけるリスク ・AIガバナンスとガイドライン ・生成AIの進化と今後の展望 ・人と生成AIの協働	<b>予習:</b> 設定した自分のビジネス課題解決への生成AIの活用	野田	180分
	イベント 講義、発表、討議			

2026.06.20

- ※ 講義日程は、学事ポータルの講義日程表をご参照ください。  
 ※ 学習内容やスケジュールは、状況に応じて一部変更・改善が生じる場合があります。  
 ※ 講義収録は、特別講師を招く場合など、内容によっては収録できない場合があります。